

see more プロサポ

ホイールローダの日常点検

花粉のシーズンがやってきました。
花粉アレルギーの皆さんは、症状が重くなる前に
マスクやうがいなどをして、しっかりケアしましょう。
今回のプロサポは、建設機械の日常点検の第2回、
ホイールローダ編です。
大切な相棒のコンディションにも、目を配ってあげてください。



日常点検の重要性

日常点検をしっかり行うかどうかで、
毎日の作業の生産性や燃費が変わるだけ
だけでなく、突発的なトラブルの発生率や
機械寿命も大きく違ってきます。安全
に乗るためにも小まめな点検とケアは
欠かせません。特にエンジン周りの点
検を怠ると、出力の低下や内部の焼付
き・損傷などが起き、修理や交換作業の
ために工事を一時中断しなければなら
なくなる上に、高額な費用が必要にな
ることもあります。

日頃からの点検による
異常の早期発見&早期対策で
多くのトラブルは回避すること
ができます



〈正しい点検姿勢〉

平坦で安全な場所！
バケットを水平に地面に下ろす！
パーキングブレーキをかける！



日常点検を安全に行うために、まずは正
しい姿勢で駐機してください。平坦で
地面がしっかりした場所を選び、バケ
ットの底面が水平に接地するようにしま
しょう。

日常点検の手順



ホイールローダを正しい姿勢で 駐機したら点検開始！ 数字の順にチェックしていきましょう。

※中型ホイールローダの点検例です。詳細は各機種の取扱説明書をご確認ください。

1 エンジンオイル

- エンジンオイル量はきちんと入っていますか？
- エンジンオイルが黒く汚れていませんか？

レベルゲージを挿し直してオイルの量を確かめながら、汚れ具合もチェックしてください。オイルが少ない場合は必ず補充してからエンジンを始動するようにしてください。また、オイルを白いウエスやペーパータオルにたらしたときに、スラッジ混じりの真っ黒いオイルが広がっていくような場合はオイルの交換が必要です。

2 エンジン冷却水

- 冷却水量はきちんと入っていますか？
- 冷却水が汚れていませんか？
- 冷却水にはクーラント液が適切に混合されていますか？
- 冷却水の各経路からの漏れはありませんか？



3 ラジエータ/オイルクーラ

- コアのゴミ詰まりはしていませんか？
- 水漏れやオイル漏れはありませんか？



冷却水の管理やラジエータの点検もきちんと行わないとオーバーヒートを起こし、エンジンを損傷する恐れがあるので重要です。

4 エアフィルタ

- エアフィルタは詰まっていますか？

エアフィルタが詰まっていないか、インジケータで確認してください。エアフィルタが詰まると不完全燃焼を起こし、エンジン出力が落ちるだけでなく、燃料消費量も多くなります。



5 トランスミッションオイル

- オイル量はきちんと入っていますか？
- トランスミッション周辺からのオイル漏れはありませんか？



6 タイヤ/ホイール

- タイヤの溝の深さは十分ですか？
- タイヤに傷(亀裂)やひび割れはありませんか？
- ボルトの緩みや脱落はありませんか？

タイヤにはつねに大きな負担が掛かっています。安全に作業を行えるように、摩耗や亀裂などがないか日常からしっかりチェックし、異常を察知した場合は早めに交換するようにしましょう。



7 ハイドロリックオイル

- オイル量はきちんと入っていますか？
- オイルが汚れていませんか？
- オイル漏れはありませんか？



8 バケット/カッティングエッジ

- バケット本体に亀裂や過度の摩耗はありませんか？
- ツースやカッティングエッジの摩耗、脱落はありませんか？
- バケット底面のウエアプレートは摩耗していませんか？

点検を怠ると、作業効率が低下したり、破損による作業中断につながります。

9 各油圧シリンダ

- シリンダのロッド部分に損傷はありませんか？
- シールから油漏れていませんか？

油圧シリンダの損傷などを早めに発見して手当てをすれば、大きなトラブルを防ぐことができます。各部の給脂状態も併せて確認しましょう。



10 車両下部

- 車両の下に液体(冷却水、燃料、作動油、エンジンオイル)が漏れていませんか？



11 尿素水(アドブルー)

- 液量はきちんと入っていますか？
- 補給の際にホコリやゴミなどを混入させていませんか？



燃料タンクを充填した場合は、尿素水タンクも充填してください。尿素水タンクのキャップは青色で、燃料タンクのキャップの横に配置されています。尿素水タンクに間違えて燃料を充填しないように注意してください。

12 ブレーキシステム

- ブレーキバルブおよびオイルラインからの油漏れはありませんか？

ブレーキバルブやオイルラインと併せてブレーキの作動についての確認も忘れずに行ってください。



故障を未然に防ぎ、ホイールローダを良好なコンディションで長くお使いいただくためには、日頃からの点検が大切です。日常点検で異常があるかも知れないと感じた場合は、すぐに最寄りの販売店にご相談ください。

